

常新新聞

定價 一部金貳錢 廣五號十二行 休日除大祭 編島縣不城郡平町長崎町三五
 部五號十二行 休日除大祭 編島縣不城郡平町長崎町三五
 部五號十二行 休日除大祭 編島縣不城郡平町長崎町三五

發行編輯人 川崎文治
 印刷所 川崎文治
 本社下町番地 (電話六三〇番)
 印刷所 常盤毎日印刷所 (電話六三〇番)

刊夕日四十二月二

猪鹿日本後荷着

急告!!!

猪なべ、鹿なべ
 ハ御一人前
 六拾錢

肉賣モ致

石川亭
 電話四三番

迅速 貸切自動車

番七十四話電

部車動自澤芹
 忠正澤芹主

強勉

女中高給ニテ募集
 但シ十七歳以上

酒 鶴仙

醸造元

石城郡平窪村
 松吉屋本店
 電話一四二番

あん餅で

東北一...

鐵道省御用舖
 花澤四良司菓子店

大懸賞募集

課題 千度三丁目角八原モスリン店跡へ
 奇麗な店が開業いたします左記三題を解答
 して奮つて御投票下さい(用紙はハカキ)
 締切二月廿八日

一、何商賣の店が出来たか?
 二、何月頃開店するのかわか?
 三、何店の分店なるか?
 宛先は平町三丁目

大黒屋小間物店

宛にござしく御投票を願います
 ◎正解者多数の際は常磐毎日新
 聞社員立會の上抽籤に依り左
 の如き賞品を差上ります

賞品
 一等會席膳五人前壹組
 二等地球印家庭鍋貳組
 三等旅行用安全カミソリ三組
 四等舶來ニッケル臺附鏡五組
 等外クラブ(はみ)がき一ヶ宛二百名

三月中常磐毎日新聞紙上に
 て發表

小店員募集

お出の節御特参下さい
 一般的な催し下せう
 お遊びに御出下さい

特遊券

平町松雲園池端
 小舟知
 電話三六番

◇有効期間三月三十日迄
 ◇一枚でお幾人様にも共用できます

常盤論壇

悪思想根治策

田中五郎

(二)

即ち我國の現状を通過する
 に國民の元氣は全く地を拂
 ひ我國古來の美點は日に衰
 へ國民全般は歐米心醉主義
 に陥り唯譯もなく歐米を崇
 拜した結果遂には歐米に於
 ける思想そのものを全部鵜
 呑に之を我國に入れんと
 するの結果にあらざるかと
 思ふ、即ち善惡の別なく之
 を我國に取入れんとした結
 果遂に斯くの如き憂ふべき
 傾向を招來したのである
 まいか故に國民は此點につ

き深甚の注意を拂ひ苟くも
 該思想にして我國と相容れ
 ざるものあらんか躊躇なく
 之が排斥に官民擧つて努力
 すべきだと思ふ、即ち國民
 各自は平時穩健着實なる思
 想の善導に心掛け斯くの如
 き思想の一日も早く我國に浸
 入するを極力阻止しなければ
 ばならぬと思ふ。然しながら
 ら徒らに檢舉のみに心を注
 ぎ穩健なる思想に對してま
 でも斯くの如き態度を以て
 臨むが如きは甚だ誤りたる
 ことであるが圓滿なる發達
 を遂げしむる上に於て出來
 得るだけの周到なる注意を
 拂ひ徒らに民衆の反感を買
 ぶが如きは努めて避くべし

活版印刷の
 御用命を御
 願ひします

明鮮美優
 嚀町速敏

所刷印日每警常
 五三町橋長町平
 (番〇三六話電)

伊藤魚問屋

平町四丁目電話特長五一八番

御禮廣告

拜啓這般賣出し中は多大の御眷顧を蒙り御陰を以て豫
 想以上の成績をおさめ候事各位の深甚なる御同情の賜
 と厚く御禮申上候今後共一層御引立被下度此段御禮申
 上候

大正十五年二月廿三日

平町三丁目
 聯合事務所

磐城の誇りの
 天下
 一品 古の鯉節

御進物には一番

屋 鹽
 社會名合崎山
 り通橋土町平
 番十話電

至急募集

見習子弟 十二歳より
 十六歳まで
 給仕小女 十四歳より
 十八歳まで

牛鳥なべ 味噌タレ有り、

御定食

圓 品 金壹 7
 圓 品 金壹圓五錢 10
 圓 品 金貳 12

書食 夕食 晚食

平町一丁目
 電話二六〇番
 ラヒターエフカ

神谷の農事分場は益々内容を充實し

絶対に廢止しない

分場長には斯界の權威者は本場の各種縣案がほとんど終了したので本場員も全力を注ぐはず

如何に

分場の仕事は微々たるものであるが、これを出るに早々豫算の少ない關係もありこれを以て農學校に合併などは途方もない議論である農學校に合併して園藝部にすることを必要とする

現在の

農學校にして絶対にない故に同分場は如何に政黨者が騒いでも廢止せず現在縣内には野菜類で縣外に誇るようなものは會津のイモ位で他に何一つないが同分場は野菜

試験地

に最も適したナス、イチゴの二種類優良品種は既に得今年から白菜ネギ等の採種にかつた程であるから欠員中の分場長には斯界の權威者を入れて明年度は豫算も増し温室その他の

準備も

萬遺憾なきを期し野菜優良品種産出に全力をあげ縣内に適する野菜種を造り上げ如何に分場の必要であるかを縣民に知らしめるべくそれら研究の中なるもこの採種に對して

警女卒業生の職業的色彩

志望別調べ

縣立警城高等女學校から來月廿一二日頃校門を巣立つ約百四十名の卒業生志望別を聞くに家庭に止まるもの百名に對し直に小學校教員となるもの三名上級學校希望四十二名にして進學の人員は總數に對する約半數弱の多數を示し而もその希望の内容に至つては左記の如く極めて職業的色彩の鮮明なるを看取する事が出来る

高等師範四名、同上妹婿養成所一名、師範部二十名、醫學專門學校二名、實踐女學校高等科一名、

砂を運んで

道路の改修

石城郡夏井井村消防組第三部消防手廿五名は廿三日から矢吹組頭及山崎、大支の兩小頭指揮の下に夏井井川から砂礫を搬出し大字荒田目地内間道約三百六十間を改修する

劍道の型を

平署道場にて

平署劍道師範三段鈴木忠正氏は平町在住の剣手を集め本日より後三日間毎日午前十時より平署演武場にて帝國劍道の型を講習すると

本町通りの街路にニラむ

ダルマの數々

本廿四日は舊曆正月十二日に當る爲め平町には例年の吉例に依り達磨市を開いたが三丁目附近街路の兩側

漁民の福音

廻船手數一割

本縣濱三郡魚類問屋では漁民から廻船手數料を漁獲賣却高の一割二分を徴収してゐるが昨年の秋開催した關東北水産業者懇談會でこれ

福島炭礦の

坑内に突如大浸水

廿數名の労働者溺れんごす遂に廢坑の憂目か
石城郡赤井村福島炭礦第三坑は去る十七日午後一時半頃突然爆音と共に坑内に浸水し折柄入坑作業中の坑夫は狼狽し何れも要所に避難したが増水甚だしいので危険は刻々に迫り二十四名の坑夫溺死せんとしたことを知つて外部からの應援にて避難するを得たがその後坑夫は必死となつて引續き排水ポンプ數臺を仕かけ極力排水に努めたが水勢甚だしくその効果がないので現

警署聯合

劍道會準備

審判は室氏
既報平警察署主催濱三郡警官聯合劍道大會は來る廿八日平署演武場にて開かれる筈で目下種々準備中にて参加者五十餘名に達すべき見込にて審判官は小名濱町の老劍士室直典氏である

桑芽接講習

各村落にて

石城郡農會では左記日割を以て桑芽接講習會を開催するが講師は堀内、成田兩技手である

妻女頭を割

亭主の目前で

突然の落聲に
石城郡内郷村大字宮字峯根居住大沼郡水玉岡村生れ磐城炭礦後山夫歌川ヨシ(四九)は廿二日午前九時頃夫勇吉と共に坑内にて石炭をトロ



近火の際の心得

近所から火がでたのを発見した場合は、すぐ電話なり人を走らすなりして警察署に通知することが第一である

豫算附議の平町會開

來る廿六日に

平町會は來る二十六日午前十時より開催すべく附議案は左の如し

- 一、大正十五年度平町歳入出豫算の件
- 二、自大正十四年度至大正十六年度平町特別會計水道給水事業費繼續年期及支出方法變更の件
- 三、大正十四年度平町特別會計水道給水事業費歳入出豫算追加更正の件
- 四、大正十五年平町特別會計水道給水事業費歳入出豫算の件
- 五、商業學校學則中變更の件

平町人事

出生

- △三丁目七 加藤欽一郎氏長男一
- △研町八 伴善三治氏二女キキ
- △研町五 齊藤末市郎氏長女キミ子
- △一丁目一 太田守三氏二女元子
- △大工町一七 羽根一那氏四男富藏
- △北目町一五五 鈴木子之松氏三女ヤイ子
- △一丁目二〇 綿引秀親氏五男欣吾
- △紺屋町五 當時東京市下谷區竹町 松田尚孝氏長女君江
- △才橋小路三〇 當時東京府豊多摩郡中野町玉橋濱氏長女美代

死亡

- △仲間町七五 佐藤銀造(一七)
- △立町九六 矢吹富美子(二二)
- △田町三七 青木才次郎(六九)
- △鎌田町五三 大友繁(二二)

實地調査

目下事務整理

平稅務署に於ける十五年度營業稅實地調査は一昨二十三日より主として内部事務の整理に着手し本月中旬に凡ての調査を了し豫定の通り來月五日頃調査會開會の運びに至るべしとのことで